

人口減少と都市のこれから

人口減少と言っても都心ではまったくリアリティが感じられませんが、空き家率は確かに増えています。実際の現地調査と人口統計のデータから何が見えてくるのか松本氏にうかがいます。

2014年8月28日(木) 午後6時30分～8時30分

お話し：松本恭治氏 (元高崎健康福祉大学教授)

会場：神楽坂キーストーン法律事務所 (飯田橋駅 徒歩4分)

参加費：一般1500円、会員1000円、学生500円 (定員15名)

内容：人口減少と高齢化の進行が同時に進み、かつては標準的な世帯と考えられていた夫婦と子どもによって構成される世帯は30%を切り、平均的家族像が大きく変わろうとしています。管理費の滞納などにより管理状態が低下、スラム化するマンションも出ていますが、このような状況にも関わらず新築住宅の建設は続き、空き家も増加しています。

松本氏の調査資料と統計から、都市に何が起きているのかについてお話しいただき、これからの都市の姿について意見交換をしたいと思えます。



松本恭治氏プロフィール●1943年中国北京市生まれ(親の話では危うく戦争孤児になる場所であった)。1967年横浜国立大学建築学科卒、1969年同大学院修士課程修了、1969年同大学助手 設計に集中、ところがひょんなことから人生が暗転、1975～2001年国立公衆衛生院勤務、2001～2010年高崎健康福祉大学勤務、健康福祉学部大学院教授で退職、2003年日本マンション学会論文賞。主な研究テーマ 住まいと健康、都市住宅問題

※終了後、懇親会を予定しています。(会場未定、費用別途)

※いずれも事前に申込が必要です。申込なしでご来場頂いた場合は資料や席が用意できないことがあります。当日、都合が悪くなった場合はキャンセルをお願いします。

※定員に達し次第締め切らせて頂きます。

ホームページからのお申し込み <http://www.machi-kaeru.com>

FAXでのお申し込み FAX (03) 5228-0392

お名前 ご住所

団体名・所属など

電話 ファクス mail

人口減少と都市のこれから 参加 名

景観と住環境を考える全国ネットワーク

<http://www.machi-kaeru.com/> 510@machi-kaeru.com
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 3-2-5 SHKビル